

平成29年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	6	岡谷市勤労青少年ホーム 岡谷市勤労会館	
指定管理者	名 称	(財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンター	指定期間	H28.4.1~H33.3.31
料金形態	形 態	指定管理料	指定管理料	12,590,000 円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施			
施設担当課	工業振興課			

1 施設担当課によるモニタリングの実績

○施設訪問

・施設訪問の頻度

▼より選択

週に1回

・施設訪問の際に行った内容

▼より選択

情報交換、意見交換	○
施設管理状況の確認	○
施設の安全点検（危険箇所の把握等）	○
業務指導、改善要求	○

○事業報告書

・報告書の提出を求めている頻度

▼より選択

日報	月報	四半期報告書	年報（事業報告書）
	○		○

●モニタリングの結果

・モニタリングで把握した課題

小規模な修繕

・指定管理者に対して業務指導、改善要求を行った内容

定期的な館内巡視を行い、修繕箇所の早目の対応に努めること。
来館者への丁寧な対応に心がけること。
施設の利用者の増加に向けた取り組みを常に行うこと。
公金の取り扱いについて、適正に処理すること。
常に、報告、連絡、相談に努めること。

・業務指導、改善要求への対応状況

▼より選択

内容	チェック
指定管理者は、市の指導・監督に従い、速やかに指摘事項を是正・改善した。	○

2 施設担当課としての評価

○ 実績評価

・ 事業報告書各項目の採点（70点）

事業計画の項目	指定管理者	市の評価	評価に対する事項
基本方針	5	4	県下の中でも、トップクラスの活用状況であることは高く評価できるが利用者が減少したため、更なる施設の利用促進に取り組んでほしい。
経費縮減	5	4	更なる経費節減策の検討を望む。
職員の配置	5	5	適正な配置と判断している。
有資格者等の配置	4	5	適正な配置と判断している。
職員研修の実施	4	5	適正に実施されている。
施設の維持管理	5	5	老朽化による修繕等を適正に実施されている。
住民の平等利用の確保対策	5	5	勤労者が優先される施設ではあるが、一般住民にも開放し利用を図っている。
サービス向上対策	5	5	あいさつが的確に行われ、多くの講座を開催するとともに利用者の少ない昼間に一般利用等の有効活用が行われている。
利用者の要望の把握及びその実現対策	5	4	講座の利用者が年々減少傾向が続いていることから、更なる利用者の要望の把握を望む。
自主事業の実施	4	5	ホーム祭やサンタボランティアなど実施されている。
地域、他施設との連携	5	5	勤労者以外への利用も柔軟に対応しており、近隣の高校生も利用されている。
施設の運営	5	5	更なる利用者の確保と利便性向上策を望む。
個人情報保護に向けた取り組み	5	5	適正に行われている。
防犯、防災の対応 その他、緊急時の対応	5	5	AEDの設置、消防訓練等防災対策に取り組んでいる。
合計	67	67	

※各評価に対する事項については、特記すべき点を記載（採点「5」及び「1」については、必ず評価に対する事項を要す）すること。

採点	評価基準
5	管理運営業務が要求水準、事業計画を上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を確保した。
4	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり又はやや上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を行った。
3	概ね要求水準、事業計画のとりの管理運営を行った。
2	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり行われており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供が提供されることが見込まれるものの、一部遅滞や不履行がみられ、簡易な改善を要する。
1	管理運営業務が要求水準、事業計画を下回るなど、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供に改善が図られず、次年度に早急な改善等を図る必要がある。

・ 出納状況 (4点)

出納状況	はい	いいえ
決算について、各項目の収入額は適正である。	1	
〃、各項目の支出額は適正である。	1	
〃、必要な業務を行わずに余剰金が生じた項目はない。	1	
指定管理経費は、法人本体の経理とは明確に区別して管理された。 複数施設を一括管理している場合、1施設ごとに予算・決算が示された。	1	
合計点	4	

・ 事務事業評価 (10点)

↑ 増、↓ 減、→ 現状維持

▼ より選択

施設の利用状況	チェック	採点
施設稼働率	↑	1
年間利用者数、件数	↑	1
1日あたり利用者数、件数	↑	0
施設使用料年間収入額	↑	2
活動一単位あたりコスト	↑	2
合計点		6

有効性評価	標準
-------	----

増	: 2点
維持	: 1点
減	: 0点

・ 評価する事項

・ 利用者が定着し、長期間にわたり一定の利用がされている。 ・ 昼間の利用促進のため会館講座をウェルワークと共催で行い、利用者のニーズに沿った講座や新規利用者確保に向けた企画が実施された。 ・ 館内表示等の再点検を行い、利用者の利便性向上に努めている。
--

・ 改善が必要だと考える事項

・ 勤青ホームの利用者、講座参加者の減少が見られたが、利用者増および施設の有効活用が図られるよう、新規企画の提案、自主事業の実施により利用者の新規獲得を望む。 ・ 現利用者に継続使用していただけるよう更なるニーズの把握、利便性向上に引き続き努めるよう望む。 ・ 勤青ホームの施設の稼働率は若干増加したが、さらに施設の有効活用が図られるように未利用の時間の活用を望む。 ・ 定期点検等による施設の維持管理の徹底。
--

・ 事業計画書の提案事項のうち未実施の項目

未実施の項目	特になし。
未実施の理由	

・ 3つの選定基準による評価 (16点)

▼より選択

3つの選定基準	評価項目	評価	点数
1 平等利用の確保	利用者ニーズへの対応の積極性、苦情処理の充実度	普通	1
	平等利用の確保対策の充実度	高い	2
2 施設の有効利用及び経費の節減	施設利用状況の向上度 (利用者数・件数、使用料収入)	普通	1
	岡谷市のまちづくりに対する貢献度	高い	2
	経営ノウハウの活用度	高い	2
	管理・運営コストの抑制度	普通	1
3 管理の安定性	管理・運営体制の安定度	高い	2
	施設・設備の安全度、安全確保対策の充実度	普通	1
合計点			12

●総合評価

特に優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	適正な管理運営が行われており、更なる向上が求められる	管理・運営方法の改善が必要である	管理・運営方法の抜本的な改善が必要である
90点以上	89-70点	69-50点	49-30点	29点以下
S	A	B	C	D
	○			

平成29年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	6	岡谷市勤労会館		
指定管理者	名 称	(財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンター		指定期間	H28. 4. 1～H33. 3. 31
料金形態	形 態	指定管理料		指定管理料	1, 649, 000 円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施				
施設担当課	工業振興課				

1 施設の利用状況

* ①は貸館施設のみ対象 * ②・③はどちらかの欄に記入 *

区 分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 施設稼働率	57.1%	63.3%	78.3%	
年間開設日数(日)	343	341	341	341
1日の開設時間(時間)	12	12	12	12
年間利用可能時間(時間)	4,116	4,092	4,092	4,092
年間利用実績(時間)	2,352	2,591	3,205	
② 年間利用者数(人)	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数(件)	1,001	1,000	1,259	1,260
有料利用件数	665	828	1,069	1,070
無料利用件数				
減免措置件数	336	172	190	190
④ 1日あたり利用者数、件数	2.9	2.9	3.7	3.7
⑤ 施設利用状況の説明				

2 コストの推移

* この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位: 円]

区 分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	1,653,229	1,653,271	1,653,303	1,654,000
経常経費	1,653,229	1,653,271	1,653,303	1,654,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				

区 分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	800,000	800,000	800,000	800,000
正規職員の人数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10
③ 合計コスト(①+②)	2,453,229	2,453,271	2,453,303	2,454,000
前年度比		100.0%	100.0%	100.0%
財源内訳				
一般財源	1,898,434	1,678,306	1,389,843	1,762,000
特定財源	554,795	774,965	1,063,460	692,000
* 特定財源の説明	使用料、実費徴収金			
④ 施設使用料年間収入額	476,335	691,785	919,290	584,000
⑤ 年間減免措置額	207,365	97,670	85,940	86,000
⑥ 受益者負担割合	41.4%	47.8%	60.8%	40.5%
⑦ 活動一単位あたりコスト	2,451	2,453	1,949	
前年度比		100.1%	79.4%	
⑧ コストに関する補足説明				

3 大規模修繕の予定

予定事業費	円	予定時期
内 容		

4 施設の維持管理コスト

1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項 目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
火災保険料	4,303		4,303	
委託料	1,649,000		1,649,000	指定管理料
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合 計	1,653,303	0	1,653,303	

2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項 目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数	0.10		0.10	人
合 計	800,000	0	800,000	円

3 特定収入

単位：円

項 目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
使用料	919,290		919,290	
実費徴収金	144,170		144,170	
			0	
			0	
			0	
			0	
合 計	1,063,460	0	1,063,460	

4 一般財源

単位：円

項 目	経常経費	臨時的経費	合計
合 計	1,389,843	0	1,389,843